

行政区のあり方についての提言

▽行政区のあり方の検討
を始めた経緯とは？

行政組合に加入している世帯は減少傾向にあり、このまま減少が続いていくと、これまで行政区で行ってきた地域活動を継続することが困難になることが予測されます。

そこで、行政区で行われている地域活動について、多くの方に理解してもらえ、共感してもらえる、地域活動に参加できる、参加しやすい環境を創るため、検討を始めました。

▽五霞町行政区のあり方
検討委員会とは？

平成23年7月に、変わりゆく地域を取り巻く環境に応じた「行政区のあり方」を検討するため、設置されました。

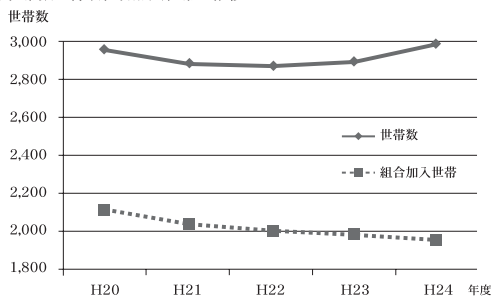
▽目指すべき行政区の
姿とは？

検討委員会は、地域活動が充実するためには、行政区が担っている機能を把握し、これまでの歴史と文化を尊重しながら、「良さ」や「課題」を地域で共有することが重要であると考えます。

その上で、地域活動に参加できる、参加しやすい環境がある行政区を、目指すべき行政区の姿としました。



◎世帯数と行政組合加入世帯の推移



資料：総務課

～ 基本理念 ～

私たちが地域活動に参加しやすい
環境を創ります

1. 向こう三軒両隣のご近所付き合いを深める

私たち町民同士が様々な行事（お祭り、レクリエーション大会など）や日常の近所付き合いを通じて連携を密にします。



2. 地域貢献の場として魅力のある活動

人と人との心の通い合い、ふれあいから生まれる助け合いの精神を、地域の活動を通じて形成します。



3. 明るく暮らしやすい地域づくり

地域の課題を行政区が主体となって解決していくことで、地域をより明るく暮らしやすくするために、みんなで力を合わせます。



提言書
概要